

熊 事 研 会 報

号外

平成 24 年 1 月 27 日

発行人 熊本県学校事務研究協議会
会長 宮本 和明
編集代表 研究部長 平木 雅万
〒869-4601 八代郡氷川町今 39
TEL0965(62)2525 FAX0965(62)4460

計報



すでにご存じのことと思われますが、熊本市立日吉中学校 事務主任 堀畠満子先生が、去る平成23年12月4日にご病気によりお亡くなりになりました。突然の悲しい知らせに心よりお悔やみ申し上げます。

ここに堀端満子先生のご逝去を悼み、会長及び生前堀畠先生と親しくされていたお二人の方からお別れの手紙をお預かりいたしましたので掲載させていただきます。

堀畠先生のご逝去を悼んで

熊本県学校事務研究協議会
会長 宮本和明

昨年12月4日、熊本市立日吉中学校の堀畠満子先生がお亡くなりになられたとお聞きしました。休職中とはいえ、そろそろ復職されると思っていましたが、大変残念でなりませんでした。お通夜に参列させていただきましたが、喪主のお言葉に、生前の堀畠先生の温かいお人柄や子育ての姿勢にご家族の強い絆がうかがわれ、ご遺族の皆様のご心中をお察し申し上げた次第です。今はただ、心からご冥福をお祈りするばかりです。

昨年は震災後に「絆」という言葉が数多く使われるようになりました。一側面として、私たち人間や社会そのものが、さまざまな形で繋がっていることを再認識する機会ともなったのではと思われます。私にとりましては、とりわけ最も重要な部分としての家族の絆を、今一度見つめなおす機会となりました。あらためて、その大切さを堀畠先生に教えていただいたような気がいたします。

私たち学校事務職員一同、学校教育に果たしてこられた先生のご功績と思いを引き継ぎ、目の前にいる児童生徒の豊かな育ちのために尽力することをお誓い申し上げて、お別れの言葉とさせていただきます。名残はつきませんが、どうぞ安らかにお眠りください。

哀悼の意

突然の訃報に驚いています。堀畠さんとは長嶺中学校で同勤でした。異動してきた4月当初から体調が思わしくなく、勤務中咳が止まらずにきつそうな様子が時々見受けられました。5月に入るとほどなく、体調を崩され、しばらく休職されることになりました。

事務室の代表3名で松橋の病院に見舞いに訪れたのは7月だったでしょうか。

ときおり笑顔を交えながら話す姿に、とても病人とは思えないほど元気に見えました。この様子だと復職も早いのでは思えたほどです。その後私も異動で長嶺中を去り、堀畠さんと一緒に仕事が出来たのは、わずかな期間でした。

葬儀に参列した際、堀畠さんの小学生時代からの友人だった方が弔辞を読みました。

その弔辞の中で、堀畠さんは当時からしっかり者で、私がいじめにあったりするとすぐにとんでもて庇ってくれました。また、悩み事があると親身になって相談にのってくれる頼りがいのある人でした。と当時の思い出を語されました。周りからも一目置かれるクラスのリーダー的存在だったそうです。その生き方は社会人になっても変わらず、その姿勢は長女の方の「お母さんのように人に役立つために生きます。」という弔辞の言葉にきちんと引き継がれていました。長い闘病生活からやっと解放されたことでしょう。子供さん達の成長を天から見守りながらこれからはゆっくりと身体を休めてください。

ご冥福を心からお祈りいたします。

熊本市立二岡中学校 古里 敏夫



堀畠満子さんの死を悼んで

桜十字病院に入院されると聞き、お見舞いに行こうと思っていた矢先の、突然の訃報に驚きでいっぱいでした。休職されてからはご無沙汰ばかりでしたので、悔やまれてなりません。

堀畠さんとは広域交流で異動になった場所が同じ上益城でした。堀畠さんは滝水中学校、私は田代東部小学校でした。2校とも寂しいことですが、廃校になってしまいました。上益城では郡と町の事務研が開催されていましたので、その度に堀畠さんと顔を合わせるのが楽しみだったのを思い出します。

熊本市に帰ってからは、パソコンで仕事をすることが多くなり、私はワープロも使ったこともなく、おそるおそるパソコンを使いだし、堀畠さんに扱い方を教えてもらったものです。Cネットが入ってからも、すぐ電話をして聞いていました。病気の影響かわかりませんが難聴になられ、電話の会話が難しくなり、FAXでのやり取りになりました。そういう状態になっても、いつもこやかな堀畠さんしか思い出せません。

休職療養後、在宅酸素療法を始められ、1年前ぐらいからは24時間酸素吸入になられたそうですので、とてもきつかったんだろうと思います。

いつも笑顔で、相手を思いやり、優しかった、堀畠さん安らかにお眠りください。

熊本市立御幸小学校 栗原幸子

心よりご冥福をお祈りいたします。